

出向者紹介

～小原健司君～

初出向ながら日本JIC委員長として、全国津々浦々、忙しく飛び回る小原副理事長を紹介します。

―自己紹介をお願いします―

(社)社日本青年会議所ローカリズム推進グループ市町村合併検証委員会委員長として出向しています小原健司です。

LOMでは本年度横浜開港祭室担当の副理事長をさせて頂いています。

―出向先委員会の紹介をお願いします―

当委員会はローカリズム推進グループの一員で、郷土愛に溢れ国益に寄与できる自律した地域の実現に向けて市町村合併を切り口につよい地域・あきらめない地域の創造、地域の可能性を見出すことを目的とした委員会です。

―委員会構成について教えてください―

スタッフは副委員長が、諏訪園JIC(長野)、京都JIC、福岡JIC、幹事が札幌JIC、神戸JIC、横浜JIC。また委員も全国各地から出向して頂いています。

―事業内容を教えてください―

第1に地域目線での市町村合併の検証を行います。第2に地方分権の本質的な問題の研究を行います。第3に当委員会



から全国へ連携推進運動の展開及び広報活動を行います。特徴としては、当委員会だけで全国の地域の検証を行うことは不可能です。そこで、47ブロックと連携して地域の可能性を見出し、ブロックからLOMへと連携をひろげていきます。合併した地域、合併しなかった・できなかった地域・検討している地域等々様々な形態のある市町村合併。その結果、良くなったところもあれば、悪くなったところもあります。合併で取り残された地域もあります。これらを踏まえて、失われた力、地域の可能性を見出す委員会として活動しています。

―京都での公開委員会はどうか
全国各地から200名以上の参加がありました。地域の現状を知るために調査シートに参加者に配布し、連携推進運動の意義を伝える事ができ、非常に熱気を感じる公開委員会でした。

―今後の事業予定を教えてください。―

3月末をめどに全国47ブロックで市町村合併検証に向けた調査が終了します。その調査結果に基づき検証を行い、7月のサマコンにおいて、地域の可能性を見出し、全国のメンバーに対し、地の利を活かした自主自律によるつよい地域を発信していきます。

また全国会員大会 沖縄那覇大会を目前にグループ方針に則った形で、市町村合併検証結果に基づく提言書を作成致し、国民に向けて発信いたします。

横浜という大都市に在るとどうしても市町村合併について実感がわかない方も多いかと思えます。当委員会は全国各地市町村という地方自治体から見えてくる地域のリアルな現状を把握し、市町村合併という手段を選択した事が、本当にその地域にとって正しかったのかどうかを検証していきます。

地域によっては、各地青年会議所が旗振

りを行って市町村合併と密接に関係してきたLOMもあります。反面、市町村合併により合併や消滅した市町村、LOMもあります。

将来、来るべき道州制の議論の中でいずれ私たちの街「横浜」においても広域自治体に加わるか否かを選択する日がきつと来るでしょう。自分たちの地域活性化のため、他人事とは思わないで是非、折々で当委員会の事業を見守って頂ければ幸いです。

―最後に一言お願いします。―

日本JIC、ブロック協議会に多くのメンバーが横浜JICを代表して出向しています。日本の運動が自分たちの町やLOMにどのように密接にかかわっているかをぜひHPや事業などで活動を見たり触れたり、直接聞いたりして出向に興味を持ってください。そして、出向者へのご支援を何卒宜しくお願いします。

市町村合併検証委員会 出向者

委員長	小原健司
総括幹事	木内秀行
委員	石井紀光
	澤田祐巳
	羽柴公貴
	岡部祥司
	鈴木紀子

レポート／日本JIC関係委員会

岡野哲也